Course number	U-LAS70 10001 SJ50		
Course title (and course title in English)	ILASセミナー ：洛南の歴史景観と河川環境巡検 ILAS Seminar :Riverine Landscape in Southern Kyoto	Instructor's name, job title, and department of affiliation	Disaster Prevention Research Institute Professor,KAWAIKE KENJI Disaster Prevention Research Institute Associate Professor,Yamanoi Kazuki Disaster Prevention Research Institute Assistant Professor,Takahiro Koshiba

Group	Seminars in Liberal Arts and Sciences	Number of credits	2	Hours	30
Class style	seminar (Face-to-face course)	Year/semesters	2025・Intensive, First semester	Quota (Freshman)	10 (10)
Target year	1st year students	Eligible students	For all majors	Days and periods	Intensive

Classroom	(Uji Campus)	Language of instruction	Japanese
Keyword	防災工学関連 / 歴史景観 / 河川環境 / 京都洛南地域 / 巡検		

[Overview and purpose of the course]

伏見、宇治および淀・八幡地区の歴史遺産を地形や河川環境の専門家とともに歩く巡検を行います。京都南部低平地における治水遺跡（太閤堤）や宇治川水運の史跡（伏見港、濠川、高瀬川）、そして近代河川工学の文化遺産（疏水、三栖閘門、背割堤）等に関する認識を新たにし、土地のなりたちをふまえた流域の環境防災および水辺景観のあり方について考察します。

[Course objectives]

河川との関わりで形成された都市（景観）を巡検を通して確認し，土地のなりたちをふまえた流域の災害リスクを見る目を養う。

[Course schedule and contents)]

１）オリエンテーション：
　4月下旬の適当な日の5時限に、巡検の意義、巡検コースの特徴、成果のまとめ方等について説明します。

２）９月中の３日間に、歴史景観と河川環境を考察するため、京都南部の街・河川を巡検します。
各日、集合場所でブリーフィングの後、カメラ、地形図等を携行してフィールドを歩きます。

３）巡検の成果を各自の洛南観光マップのかたちにまとめます。

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

◎成績評価項目
・平常点（巡検への出席と参加態度）
・巡検の成果のまとめ方
詳しくは授業中に説明します。

Continue to ILASセミナー ：洛南の歴史景観と河川環境巡検(2)↓↓↓

ILASセミナー ：洛南の歴史景観と河川環境巡検(2)

[Textbooks]

参考となる文献資料を毎回配布します。

[References, etc.]

（References, etc.）
参考書リストを配布します。

[Study outside of class (preparation and review)]

京都南部の低平地、とりわけ、淀川の支流（宇治川、木津川、桂川）周辺を巡検しますので、その位置関係や歴史などを予習すると、巡検での説明内容の理解度が深まります。

[Other information (office hours, etc.)]

京都のよさを河川文化と地形環境の視点から再発見しましょう。

巡検途中の様子などを記録できるようにカメラを用意してください。撮影した写真は成果作成に使用します。

学生教育研究災害傷害保険に各自加入しておいて下さい。

旅費（京都南部を移動するための費用：１日１，０００円程度）は自己負担をお願いします。テキスト等の購入は予定していません（地図等の資料は準備します）。

成績は、レポート評価後に直ちに担当に報告した後、１０月に開示される予定です。

[Essential courses]